



平成 30 年 4 月 3 日

報道機関 各位

東北大学スマート・エイジング
学際重点研究センター

異業種 60 社の「エイジング・サイエンティスト」養成 ～4 月 11 日にスマート・エイジング・カレッジ東京 第 4 期開講～

【発表のポイント】

1. シニア向け事業専門家「エイジング・サイエンティスト」養成プログラムを開始
2. 国内で唯一加齢科学(エイジング・サイエンス)を標榜する東北大学が監修
3. エビデンスに基づく科学的アプローチでシニア事業が可能な人材を育成
4. 4 月 11 日開講の東北大学スマート・エイジング・カレッジ東京第 4 期で実施
5. 大手・中堅異業種企業 60 社(添付資料1)の新事業開発担当者が参加

【概要】

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター(センター長:川島隆太教授)は、企業内のシニア向け事業専門家「エイジング・サイエンティスト」を養成するプログラムを開始します。シニア事業に取り組む大手・中堅異業種企業 60 社(添付資料1、4 月 3 日現在)の新事業開発担当者が参加します。

多くの企業では拡大するシニア向け健康支援市場に対応するために、エビデンスに基づく科学的アプローチで事業が構築できる人材が求められています。東北大学は国内で唯一加齢科学(エイジング・サイエンス)を標榜しており、脳科学やゲノム医療をはじめ最先端の加齢科学の知見を有しています。スマート・エイジング・カレッジ東京を通じてこうした知見を企業担当者に提供し、加齢科学を理解しながら営利事業も構築できるシニア向け事業専門家「エイジング・サイエンティスト」の養成を図ります。

【問い合わせ先】

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター東京分室
特任教授 村田裕之、事務局長 小川利久
電話番号:03-6225 2546
電子メール:sact@grp.tohoku.ac.jp
WEB サイト:<http://www.sairct.idac.tohoku.ac.jp/>

【詳細な説明】

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター(センター長:川島隆太教授)は、4月11日、東北大学スマート・エイジング・カレッジ(SAC)東京第4期で、シニア向け事業企業内専門家「エイジング・サイエンティスト」を養成するプログラムを開始します。

このSAC東京第4期にはシニア事業に取り組んでいる大手・中堅異業種企業60社(添付資料1、4月3日現在)の新事業開発担当者が参加します。

多くの企業では拡大するシニア向け健康支援市場に対応するために、エビデンスに基づく科学的アプローチで事業が構築できる人材が求められています。

例えば、今月改定の公的介護保険制度では認知症ケアなどに対してエビデンスに基づく科学的介護の方向性が示されています。

しかし、これを実現するには、認知症のメカニズムに関わる脳科学、認知神経科学、心理学、疫学などの広範囲な知識と現場への応用力が求められます。ところが、介護事業者では、そうした広範囲な知識を持ち、現場に応用できる人材は非常に少ないのが現状です。

一方、小売業やメーカーなどでは、シニアのより詳細な消費行動を把握するためには、従来のアンケート調査では不十分なことが調査担当者レベルで認識されています。

これに代わって、超小型の脳活動計測装置などで消費行動を司る前頭葉の活動を直接計測することで従来型アンケート調査では得られない高度な情報が得られることがわかっています。

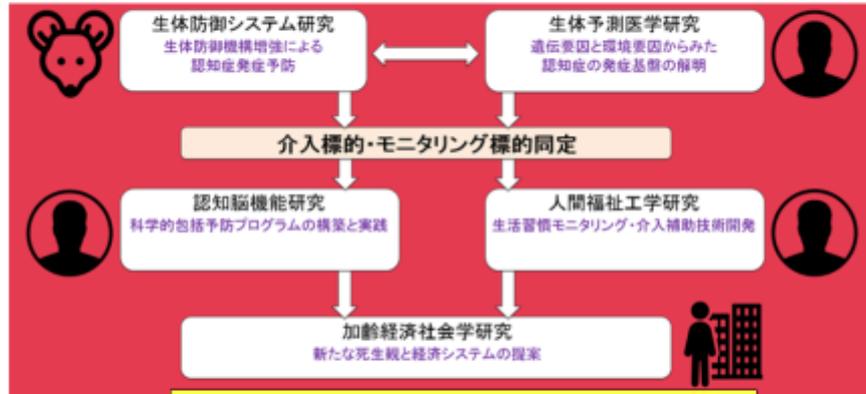
しかし、このような場合にも脳科学、認知神経科学、心理学、経済学などの知見が不可欠ですが、小売業やメーカーなどでこうした広範囲の知識を持って脳科学計測ができる人材はほとんどいません。

東北大学は国内で唯一加齢科学(エイジング・サイエンス)を標榜しており、脳科学研究やゲノム医療研究をはじめ最先端の加齢科学の知見を豊富に有しています。こうした知見を、スマート・エイジング学際重点研究センターが運営する「スマート・エイジング・カレッジ東京」を通じて企業担当者に提供し、加齢科学を理解しながら営利事業も構築できるシニア向け事業専門家「エイジング・サイエンティスト」の養成を図ります。

最先端の生命科学研究の知見をシニア向け事業専門家
「エイジング・サイエンティスト」養成に活かす



スマート・エイジング学際重点研究センターの研究活動



最先端の生命科学研究から得られる知見

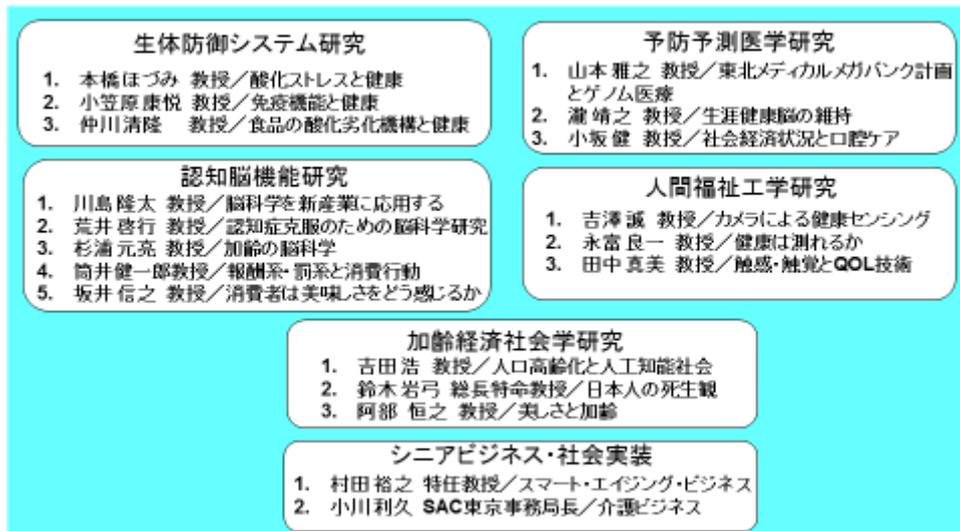
シニア事業
専門家の養成

スマート・エイジング・カレッジ東京

Copyright© Smart Aging Research Center All Rights Reserved.

SAC東京月例会の特長:

センター6部門の研究エッセンスが全体包括的に把握可能



Copyright© Smart Aging Research Center All Rights Reserved.

添付資料1 東北大学スマート・エイジング・カレッジ東京 第4期参加企業
(企業名 50音順、4月3日現在)

株式会社 I.N.O.
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アクサ生命保険株式会社
旭化成ホームズ株式会社
株式会社朝日新聞社
味の素株式会社
味の素 AGF 株式会社
NEC ソリューションイノベータ株式会社
オムロンヘルスケア株式会社
花王株式会社
カルビー株式会社
株式会社北野書店
キューアンドエー株式会社
株式会社 QOL アシスト
キューピー株式会社
株式会社クマハラアスリートサポート
クラシエホールディングス株式会社
クラブツーリズム株式会社
株式会社クリニコ
ケアサポート株式会社
株式会社ケア 21
ケアパートナー株式会社
コープ東北サンネット事業連合
株式会社コシダカ
サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
スターリジャパン株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社星和ビジネスリンク
関彰商事株式会社
株式会社セブン&アイ・クリエイトリック
SOMPO ホールディングス株式会社
大日本印刷株式会社
高砂香料工業株式会社
株式会社チカク
株式会社ツクイ

株式会社デンソー
社会福祉法人同愛記念病院財団同愛記念ホーム
株式会社東急不動産 R&D センター
東京海上日動火災保険株式会社
日本水産株式会社
株式会社 日本経済社
日本セイフティー株式会社
株式会社 NeU
ネットパイロティング株式会社
パナソニック株式会社
株式会社フィールライフ
株式会社フージャースケアデザイン
不二製油グループ本社株式会社
富士フイルム株式会社
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
株式会社本田技術研究所
マツダ株式会社
マルハニチロ株式会社
三井不動産株式会社
株式会社未来企画
夢創 IT 株式会社
株式会社メトス
ヤマサ醤油株式会社
株式会社 UR リンケージ
株式会社 LIXIL